昭和二十五年（1950）定價一部一圓二十五錢　磐城毎日新聞　六月十六日（金曜日）第22号（日刊）

磐城毎日

福島縣平市南町六六（平局區内）
發行所　磐城毎日新聞社
株式會社
編集兼印刷人　倫孝
發行人　遠藤
電話（平）一一〇番

讀愛御下さい

塩害の對策實驗始む

指定地へ農試技師派遣

石城郡沿岸の潮風鹽害による五十町歩の水田が毎年莫大な數にのぼる被害を蒙つてゐるのに對し縣當局では助成金を支出、之れが對策に付て高久村、錦町を對策實驗地に指定することになつた、實驗に就ては縣農事試驗場から齋藤、友廣の二技師が當るもので十七日指定地に到着、地域を選定した上

一、稲作の發育から收穫までの被害程度

一、稲作不能な水田には如何なる作物が栽培に適するかどうか

その他を調査の上適應作物の選定するとゝもに盛土による畑への轉換、水稲栽培法の改良、土地改良法による經營の改善、施肥による耐害品種をつくること、等各部門にわたつて研究と實驗を行うもので、これ等成果は海岸地帶農業の經營にも大きく響くので試驗の結果に期待されるものがあるし指定地の町村民も協力をすることになつてゐる

勞働委員の推薦狀

▼……二十日まで提出要望

本縣の地方勞働委員會の勞働委員を代表して勞資間の勞働問題に關する幾多の重要な仕事に當るのでありますから眞に三日改選されるので勞働者側代表委員と使用者代表委員については六月二十日迄勞働者の代表として使用者に夫々の勞使の組織から委員にそん色ない適任者を推薦されることは申すまで員候補者を推薦されるやう五月二十四日附で知事より請求があつた

勞働委員會の任務は極めて重要性をもつものであり、特に勞働者代表は勞働者がその組合を通じて自から推薦し縣下の組織勞働者を代表の形ちで公平の立場からこの問題の解結をはかり產業に於ける勞使關係の平和維持に寄與する使命はけだし大いなるものがあるのである、勞働組合にとつては有事に備へる意味からも勞働者代表委員の椎薦には漏れなく來る六月二十日までに推薦狀を出して戴きたい

いざ勞使間に紛爭の事態が發生すると斡旋又は調停仲裁の形ちで公平の立場から

學校衛生總會

役員その他決定

十四日縣衛生協會平支部臨時總會を開き左の議案に就いて協議の上決定した

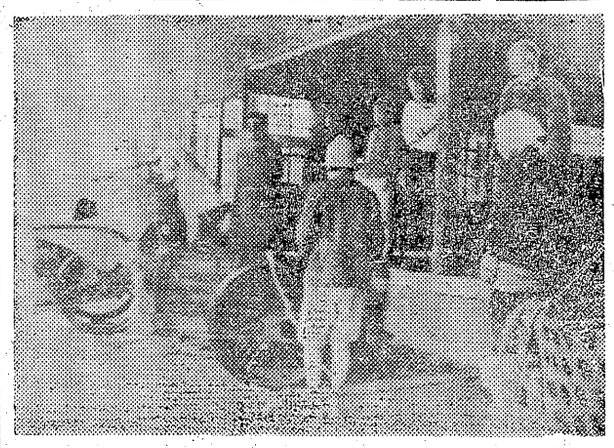
文教施策に對する、協力保健衛生思想の啓發普及、學校衛生事業の企劃實せん、保健衛生關係者の指導講演會衛生週間ポスター展示會紙芝居映畫會の開催、保健功勞者優良兒の表彰、學校衛生資材の斡旋、平支部役員左の通り

顧問に青沼保健所長、小谷市衛生課長、長谷川市教育課長、支部長に服部商業高校長、副支部長に管波平二小校長、平醫師會長、評議員九名、理事十名、監事三名を選任決定

理科指定校

第一小學校に決定

平第一小學校は本年度の郡内理科指導指定校に決定目下研究準備中である、來る二十八、九、三十日の三日間縣教育委員會事務局西澤指導主事が來校、研究指定校としての意義及び任務、環境、設備、カリキュラム構成について指導の會を開く



「八万貫の繭を受入れる市内片倉製絲も雨に叩かれて地方からの出荷が遅れてゐたが、暫く振りで晴れて各地方からの受入れで賑うことになる譯だ、寫眞は昨年より五日早い赤井小川村からの初荷である」

市内各校生徒

教職員數五月現在

平市教育課の調べでは市内の中小高等學校の生徒並に教職員數は次の通り

學校名	生徒數	教員數
磐女高	一二三六	五三
平工高	一三一〇	五一
平商高	八三三	五六
平高（夜）	六二七	二六
一中	一二七	五
二中	一、二五九	三六
三中	八六一	二六
一小	七九三	二四
二小	一、四一二	三一
三小	一、四〇五	三〇
四小	一、四七五	三四
五小	四一三	一六
六小	五七三	一五
高校計	五七四	一七
中學計	四、一三三	一九一
小學計	二、九一三	八六
合計	五、八五二	一四三
	一二、八九八	四二〇

平市作物被害調査

菜種八割減收の見込

平市役所十五日現在調べ市内二毛作の被害狀況は舊市内麥の作付面積百三町九反馬鈴薯二十町、菜種三町に對して麥四割、馬鈴薯六割菜種八割の減收、飯野支所管内麥の作付面積は六十二町八反、馬鈴薯二十町、菜種五町に對して麥四割、馬鈴薯五割、菜種八割の減收、平市北目町（好間川）一箇所、内郷町内（新川）一箇所、永戸村地内（好間川）二箇所、小川村地内三ケ所の計、馬鈴しょ七割、菜種九割、道路では好間地内一箇所、赤井村地内一箇所

道路の損害

一千二百万圓

平土木監督所管内の洪水被害は係員を出張、現地調査中だが十五日正午現在までに於いて市内小中校教務主任會議を開く

一、指導要錄の取扱ひについて

二、觀察簿の判定とその活用と評價について

三、通信簿の制定とその活用について

四、カリキュラム構成委員會の運營について

五、認定講習と授業に付てその他

教務主任會議

本十六日午後一時より平第一小學校に於いて市内小中校教務主任會議を開く

一、指導要錄の取扱ひについて

二、觀察簿の判定とその活用と評價について

三、通信簿の制定とその活用について

四、カリキュラム構成委員會の運營について

五、認定講習と授業に付てその他

人事ニュース

△縣農地課柳沼主事は植田町所在農林省所有財產管理換調査の爲昨十五日來平、十六日退平の豫定

△縣農事試驗場齋藤、友廣兩技師は内郷町字綴板宮地内の鑛毒施設狀況を三日間視察、十九日歸廳の豫定

人生旅日記

渡邊軍平さん

東北配電平營業所の經理係長渡邊軍平さんは白髮童顔、柔和の好紳士型である、話もおだやかだが頭の切味と手腕力量では五ツの係長の椅子中、優たるの保證付である生え抜きの電氣屋畑で日本電力、郡電、關東配電などに勤めて今の東北配電と此間約三十年を送つて來たのである、一生懸命仕事に身を入れ過ぎる程で場合によつては誤解もされて一時植田電業所に無役の左遷に浮身を見たことも今は過去の思え出話に過ぎない

前のあなたは

兎に角、一ケ月購入資材や從業員五百名の給料などで一千三四百万円を支拂ふ經理係である點から見ても凡庸の人間では其椅子に居られない事からも人物は雄辯に物語つてゐるであらう、然らば東北配電の領域六縣下で平營業所の存在は驚くべき財源地で一ケ月の電力電燈の總收入が大体四千四五百万円、青森、岩手、山形秋田の各縣よりの徴收額を遙かに越して宮城縣全部よりも上廻つて居るに至つては何と盛んな業態ではないだらうか、東北配電の米櫃は平營業所であつて此處の經理の大將を勤めてゐる軍平さんも又立派な役目ではないか氏の最近は固性の私情をかなぐり捨てゝ本當の公平の理念に努力してゐる處、好漢益々自愛せよと筆を納める

後のあなたは

家庭經濟

虫齒豫防

平一小　四の四　木全操子

今日はA子さんのおたん生日です、仲よしのお友だちが四人およばれにいつてお家ではおばさんがおかしをつくつたり、ごちそうをつくつてとてもにぎやかです、おねえさんがトランプをもつてきました、みんながおもしろく遊びながらお姉さんからドロップやかきもちやおこしをわけてもらつていただきます、A子さんはときどきあいたいたいとしかめがお話をしています「どうしたの」「齒が少しいたいの」いよいよテーブルには色々なごちそうが出ました、レコードがにぎやかにきこえて私たちはA子さんのお家の人たちと一しよにみんなでお姉さんは私たちに心配しなたん生いわいのおぜんについて「ゆつくりあそんでいきました、おすしもあればオムレツもあります！ブル一ぱいフライもあれば、おすしもあればつて」といいましたやいろいろテ！ブル一ぱいらなくなりました、齒はたです、たのしくニコニコいせつかくのごちそうもつまいたいわ」と、とうとうAさんは子さん、その時までがまんしていたのが何か虫齒にはさまつてがまんができなくて「いたい、いたい」となきだしてしまいました、さあたいへんです

今日の大せつなA子さんが二、あまりアメやおかしなきだしてしまつたのでご三、すききらいをなくなんでもよくかんでたべること

私たち四人のお友だちもこいをたべすぎない

四、齒を朝と夜とみがくこと

散り行くもの

平工電機科三年　金成峰苑

机より花瓶の花散りて
ひらひら飛べる悲しさを
花片嘆くか行く春を
×　……　×
靜かに散りし花片を
そつと小川に浮ぶれば
水に漂ふ夢の國
×　……　×
散りし花片消えてなく
小川のせゝらぎ水の音

旅の歌

我々の思を乘せて汽車は行く
初めて訪ぬ京の都へ
五月雨に迎はる京の入日かな
春は山鹿の鳴く音にさそわれて
鹿せんべいを買ふてあたふる
五月雨にぬれつゝ奈良の宮參り
五月雨の五重の塔の高く
陽光に照す百の雫
朱一面　一面朱塗の平安宮
京辯の早きに
意味の解せぬ度
顔と顔とでサイン送れり

二度と歸らぬ花姿
あゝなつかしの花の香を

御家庭にも
學校にも
貴女のすばらしいスタイルをつくる
ノーブルミシン
レーコーミシン
有名會社特約店
月賦販賣に應じます
小松ミシン商會
内郷町宮金坂通り

『はい！ハイ！
のみ！ノミ！』
病源の運搬者……はい
安眠の妨害者……（のみ）
退治するくすりの相談は
平四丁目銀座
阿康 あとう藥局
電話四四番
藥劑師　阿部康雄

何處よりも安い
と言つてもさかいやへ
は平市六丁目
い品をウント取揃へ
いきを忘れた勉强で
うけるのは御客様
い安いと大評判
つまでも御引立を!!!

可愛い坊ちやんの御出世祝に
藤越の五月人形
250圓より
いづれも市價の三割安
平市銀座　藤越　電話 265・1280 1281・1282

社說

縣外宣傳に主力を

北海道、新潟縣に開催される博覽會、郡内出品に關する協議會を商工會議所に開いた、その際出席關係者が少なかつたし出品も呉羽の殺虫製藥品、東北硝子の二点と決定されてゐる

縣全体的には相當の出品があるのであらう、然し石城郡下で二点とはどうした譯か、製造業者が生產經營と睨らみ合せて他に宣傳の必要を認めぬのか既に宣傳は完璧を期してゐると云うのか、何れにもせよ宣傳は休みなく絶えざる努力を必要とするものであり、營業の主体とまで云つてよい、それなのに管内から二点とは出品に制約でもあるのだらうか

今度の博覽會には縣の特別館を設置することでもあらう、亦縣下の生產者は自已の經驗と技術を生かして結集した製品の販路擴張の意味に於ても此の機會を逃してはならない、何となれば新潟は隣縣であり、縣產品の販賣に地理的條件で最も優位な特点を持つてゐるものであり、輸送費その他に於ても他の追從を許さぬものがある、北海道の場合も小名濱と函館を結ぶ航路を活用して肥料、農藥品の輸出と、化學工場用（石城セメント）その他の特殊良質北海道石炭輸入に新航路を開拓することは地方發展の上に新生面をつくることになるのである

北海道農業經營の規模の實情にふれる時、小名濱港を活用するならば、地元製品の進出は將來俟つべき利点は多々あるもので、亦これは獨り農藥品や肥料のみには止まらない、農產物でも甘藷、葱柿、梨等々があり限定された物に眞綿、四ツ倉產イチヂクの罐詰などの特產物が幾多進出性を持つてゐるのである

イチヂクは痔疾の妙藥として痔疾患者の多い彼地へ藥効的宣傳を加味するならば其製產に原料不足をかこつであらう、果實類も遠く故郷を離れてゐる者には營養價や味覺を超越した故郷の味とし高價に評價されてゐるものである、これらの機微を捕えて宣傳に藥者の讃起を提唱するものである

夏期テント村は「新舞子」
水難救助其の他草野村協議

縣觀光連盟では縣内四ケ所に夏期テント村を組織、觀光客を招くことになつた、其のうちの一つに草野村地内「磐城新舞子」が擧げられて居り、この朗報に接した地元草野村では縣立公園磐城新舞子の景勝地を紹介するのにこの機を逸すべからずと諸般の準備に取かゝつた、テント村の期間は七月初めから九月の十日まで〆一回百七十人を收容三日交替、延四千八十人を收容することになつてゐる、なほ主食は避暑客が携行することになつてゐる、副食物其の他は草野村婦人會が同地に賣店を作り給與することになつて居る、同期間中は同村青年團が水難豫防、警戒その他に當る方針を樹てゝゐる、斯した健康的な試みは各方面から期待されてゐたもので相當成果をあげることが出來るものであらうし、夏期中の食生活の面に婦人會員が母となり、姉となつて世話をするから父兄も安心して遠出の旅をさせることが出來るし、村當局を始め各公共團体が協力外客誘引に万全の策をたてたことは異色ある企てであらう

林道の被害橋梁六
復舊費地方事務所要求

石城地方事務所管下林道被害狀況（十五日調べ）は△平市石森線路百崩壊二十米、上平窪線橋梁流失一、路面崩壊八十米△大野村中山線橋梁流失一、路面崩壊三十米、八茎線暗きよう埋ぼつ一、白岩線橋梁流失一、暗橋埋沒二、路面崩壊十米、玉山線橋梁流失二、暗きよう埋沒二△赤井村輕井澤暗きよう埋沒一、路面崩壊百米、玉山線石垣ほう壊六十米、畑子澤線橋梁流失一、暗きよう埋沒二、路めんほう壊二十米△下小川村柴原線暗きよう埋沒一、路めんほう壊十米△澤渡村高房綴路めんほう壊二十米△大澤村石垣ほう壊六十米で本月下旬縣に豫算の申請をし遲くとも九月末迄には復舊工事を始める豫定

金融税務相談
平商工會議所で

平商工會議所では各種相談所の充實を期し來週から毎週專門家を招えて相談に應ずる、日程は税務關係は毎週水曜日午後一時―五時、金融關係は毎しう金曜日午後一時―五時までとなつてゐる

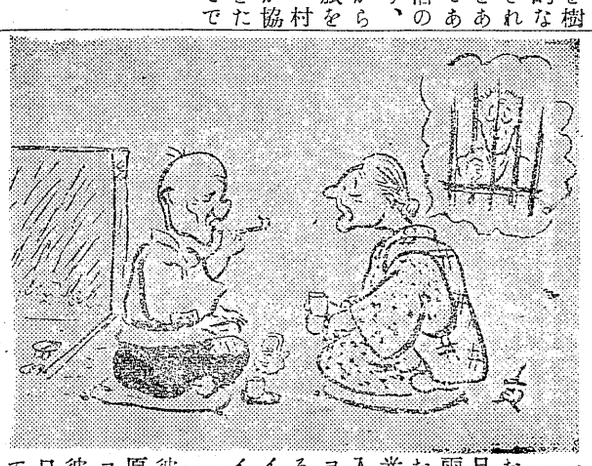
職員勞組協議　福島縣勞組石城支部では昨十五日石城地方事務所に役員會を開

食油通帳更新

市商工課では新食用油し購入通帳と引換えに來る十九日交付する菜種生產者味噌自家讓造農家には交付しない、交付區域及場所市役所一、二、三、四、五、六七、十一、十二、十三、十四、二十三、二十五の各區平第三小學校八、九、十、十八、十九、二十、二十一二十二、二十六、二十八、三十五、三十六の各區、平第二小學校十五、十六、十七、二十四、二十七、三十二、三十三、三十四の各區平窪農協組合二十九、三十三十一の各區

チブス豫防注射
市民全部行ふ

平市腸チフス、パラチフスの豫防注射を滿三才以上六才迄の市民全部（在學兒童及生徒は除く）に行なふ料金は滿三才より四才迄は十円、二十円、六十才迄は十円、日時、場所は次の通り　二十日　平第一小學校（十四、十五、二十三、二十四二十五區）二十一日　平第二小學校（十六十七、二十七、三十五區）二十二日　市公會堂（一、二、三、四五、六、七、十一、十二、十三區）二十三日　平第三小學校（八、九、十、十八十九、二十、二十一、二十二、二十六、二十八、三十六、二十七、八の三日間、第三回は六月三、四、五の三日間にわたつて行なふ



靈現かくの如し……
お爺さん「毎日よく降つた雨だナ」
お婆さん「お光さまが牢屋入したからだヨ」あゝおそろしやナンマイダ、ナンマイダ……

傘なき雨
彼氏「大雨の原因はこれだヨ」
彼女「でも毎日相合傘出來ていゝわネ」

小野田炭礦の復舊憂慮される

旣報小野田炭礦内梅津斜坑龍ノ口新坑の浸水被害は其の後の調査により意外に大きい事が判明、會社の浮沈に關するにいたつた、會社としては莫大な復舊作業費を投じてけい營を決行するかどうか憂慮されてゐる

白銀町青年會
碁・將棋大會

市内白銀町青年會では梅雨期を迎へて傳染病、蚊、ハエ等のまんえんに備へ市役所衛生課の後援のもとに來る十八日排水溝清掃を行ふ

尙同青年會は青、壯、老年層の親睦を圖る意味で同日午前十時より同町神谷光一郎氏宅で碁將ぎ大會も開く

卓球試合　石城地方事務所卓球部では明十七日午後一時より市内富士銀行チームと地方事務所に於て卓球試合を行なふ

新人進出に期待
高校各校對抗競技大會

高校体育連盟石城支部では新人の育成に力を注ぎこれまで相當數の新人を優秀選手に育成してきたが來る十七十八の兩日同支部主催で管内高校新人對抗各種目競技大會を行う、參加チーム日時、場處は左の通り

十七日　△硬式卓球＝男子三十五チーム、女子二十チーム參加、九時より磐女高講堂
△陸上競技＝男子九校、女子七校參加、九時より磐女高グランド
△女子ソフトボール＝女子七校參加、九時平市營球場
十八日　△軟式野球＝男子九校參加、九時より平工高グランド

洪水去つたあと
被害對策に當局調査開始

郡内一円に亘つて土砂崩壞河水氾濫と一面泥水と化し農作物に甚大な被害を與えると共に家屋の倒壞橋梁暗梁破損など被がいは續々と報告されて居り、各所管廳に於ても目下詳細な調査を進めて居り、近く復舊工事費の捻出と相俟つて回復すべく計畫は進められてゐるが意外に莫大な損害に啞然たるものがある

災害實地調査　仙台農地事務局佐々木技官は石城郡下五月災がいの實施査定の市大字四ツ波松崎政重（長

鎌田街の無斷消燈
配電會社に責任を問ふ

町民の總意と區長の努力で鎌田町も漸く明るい町になつたのも束の間、數日間の丈のことで、折角點燈して明るい町にした町民としては全く迷惑な話である

獨占事業とか形式主義の官僚態度といふ一部町民の非難も出かゝつてる樣ですから早急に許可印を押され點燈されんことを切に要望するものです

六月十四日　（鎌田生）

お迷惑かけて
町民に申譯なし

區民の皆樣には非常なる御迷惑の事だつたと思ひます

たしましては保安上よりも速工事完了の上點灯する樣工事の事については保安上許し得ぬ限界のあります事を御理解願ひ度いと存じます、本日は態々區長さんの御來所を頂き誠に恐縮に存じて居ります、つきましては旣設備に對し檢査を行ひました上今晩よりかり点火いたす事に協議いたしました（六月十五日　東配平營業所　業務係長）

魚菜相場
（鮮魚市況）
―十五日現在―
（單位貫）

かつを　一八〇―二〇〇円
かながしら　一八〇―二〇〇円
あかじ　一二〇―一三〇円
あじ　一五〇―一八〇円
すずき　三五〇―三八〇円
たい　四五〇―五〇〇円
いか　一五〇―二〇〇円
小いか　一五〇円
どんこう　六〇円
あんこう　一五―二〇円
にしん　三〇〇―三二〇円

【青果市況】
―（マルサ市場）―
きやべつ　五―十八円
さやえんどう　五〇―一三〇円
二五―四五円
三五―四五円
玉ねぎ　十二―二四円
大根　二六〇円
えんげん豆　七〇―一一〇円
たけのこ　二〇〇円
きり芋　四―七圓
京菜（一ば）　一五―二二圓
白菜　七五―八五円
きうり（一本）　四―六円

キヤベツ、馬鈴署出荷多くほかは昨日と保合きり芋節句近いため活潑

馬鈴薯

ズボン窃盜
住所不定無職長瀨英昭（三）は十三日午後七時頃湯本町天王崎洋品商久頭美丸助方からギヤバジンズボン一着を窃取、賣却したことが發覺、湯本町署に擧つた

株式市況
（磐城證券）
―十五日現在―

地場は弱いが賣物が結構消化されているところを見るとこの相場は馬鹿に出來ない處もある、兎角平均株價で昔の水準に引直して五十錢台ということになる

東海上　三八
新郵船　九七
三井船　八八
日發　三六
三井山　四五
日石　三七
三井造　六八
日立　二四
鋼管　三六
東洋紡　一四五
鐘紡　一〇八
日清紡　二四〇
吳羽紡　三六
日東紡　六六
片倉　四〇
帝人　九七
東洋レ　七九
新光レ　一四〇
山バル　一三八
東北バ　二三
日麥酒　四二九
朝麥酒　四二〇
キリン　四八〇
寶酒造　一四五
野田醬　三六三
豊年油　一二八
高壓　一五〇
日產化　三六
吳羽化　一五〇
苫小牧　一四一
十條紙　一三五
本州紙　一三九
日セメ　三五
磐城セ　一六七
小野田　一〇四
不動新　二二
陽和不　二〇六
開東不　二一七
越　四一〇
活　一三五

誕生

△四日平市字久保町三七酒井善治（長男）
悅雄さん△七日平市字南町一鈴木清造（長女）啓子さん△二日平市田町五一管沼公夫（長女）延友さん△六日平市大字四ツ波松崎政重（長男）正則さん△三十日平市字禰宜町七下山田嘉平（四女）富士子さん

人物

平商業高校では生徒會の役員選擧は大人の選擧底拔けの騷ぎでビラは勿論擴聲機を通じて敎壇から選擧運動に大童で、十六日午後一時より三會場で學年別の投票に最後の追込みとばかり放課後の放送室は超滿員押すな押すなのにぎやかさ、マイクは使ひ通しで立會演說會もやつたとか先生方も參議院選擧よりもうまいぞとにこにこ顏だ、一例を上げると紳士、淑女の皆樣明日の選擧には三年公認誰々に御支援の程をと選擧は白熱化してゐるとか

寫眞藝術へ
精進!!
平四・本局前
金太郎寫眞部

電柱廣告請負者募集

平市、石城郡、双葉郡に亘る管内電柱廣告請負者を次により募集する

一、請負區域
平市を中心とする者（含湯本町、内郷町）一名若くは二名
小名濱町を全（含江名町）一名
四倉町を全　一名
植田町を全（含勿來町、入遠野村）一名

二、資格
看板業者並びにこれに關係ある職業の責任觀念旺盛なる方

三、申込方法
希望者は豫め請負ふべき市、町、村名を申出ること、但し全一町村に對し二名以上の希望者ある場合は入札を以て定める
其他詳細は左記に問合せのこと

四、〆切　六月末日

平市大町　電話八六〇番
東北配電株式會社
平營業所

平市消防署
署長　井上貞次郎
●用心一つで火事は防げる
●泣けど呼べども遲い
●出さぬ用心消す用心

濱通パン協會
福島縣平市大町一八番地
電話　八二七番